

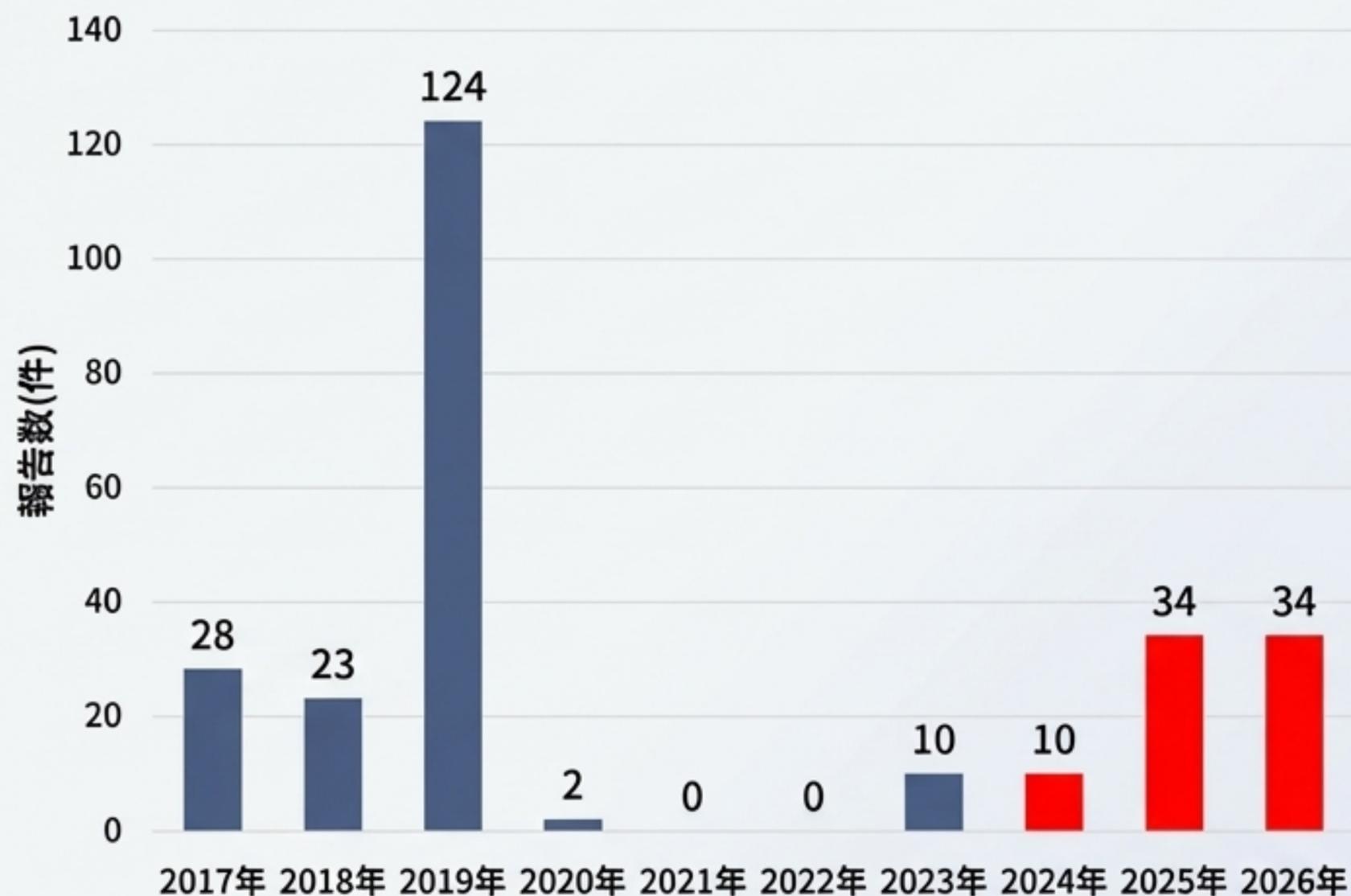
CLINICAL ALERT &
PATIENT GUIDE

麻疹の流行から身を守る ために知っておくべきこと

当院からのお願いと、安全な受診のための絶対ルール

対岸の火事ではない。 国内で急速に感染が拡大中。

都内における麻しんの年別報告数推移（過去10年）



**「海外渡航歴のない
国内感染」が増加**



**職場や学校での
集団感染例も報告**

過去の病気ではありません。
現在、私たちのすぐ身近で流行の
危機が迫っています。

新型コロナウイルスを遥かに凌ぐ、驚異的な感染力。

インフルエンザ



飛沫感染

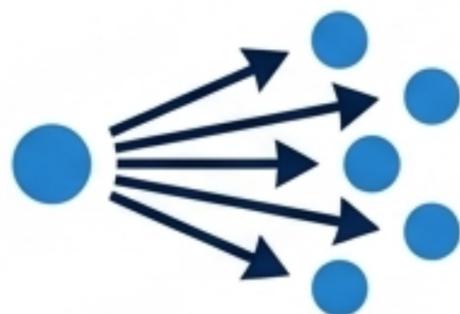


1人から1~2人へ

新型コロナ



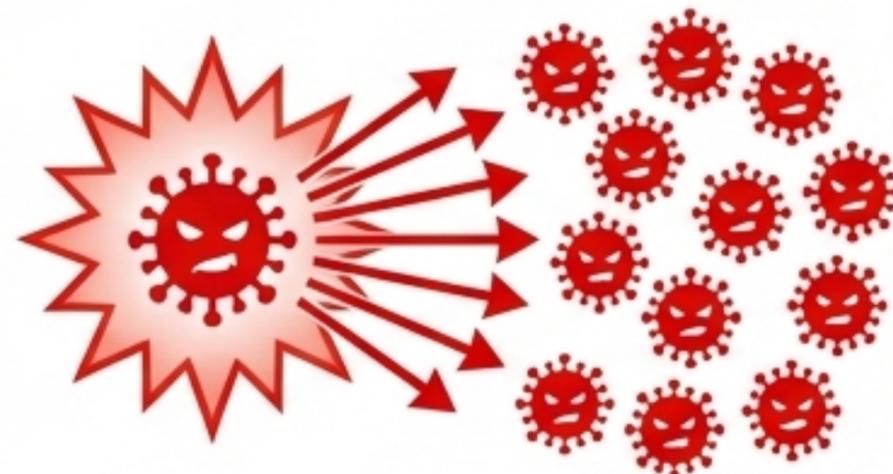
飛沫・エアロゾル感染



1人から2~5人へ

麻疹

空気感染



1人から12~18人へ

「空気感染の恐怖」

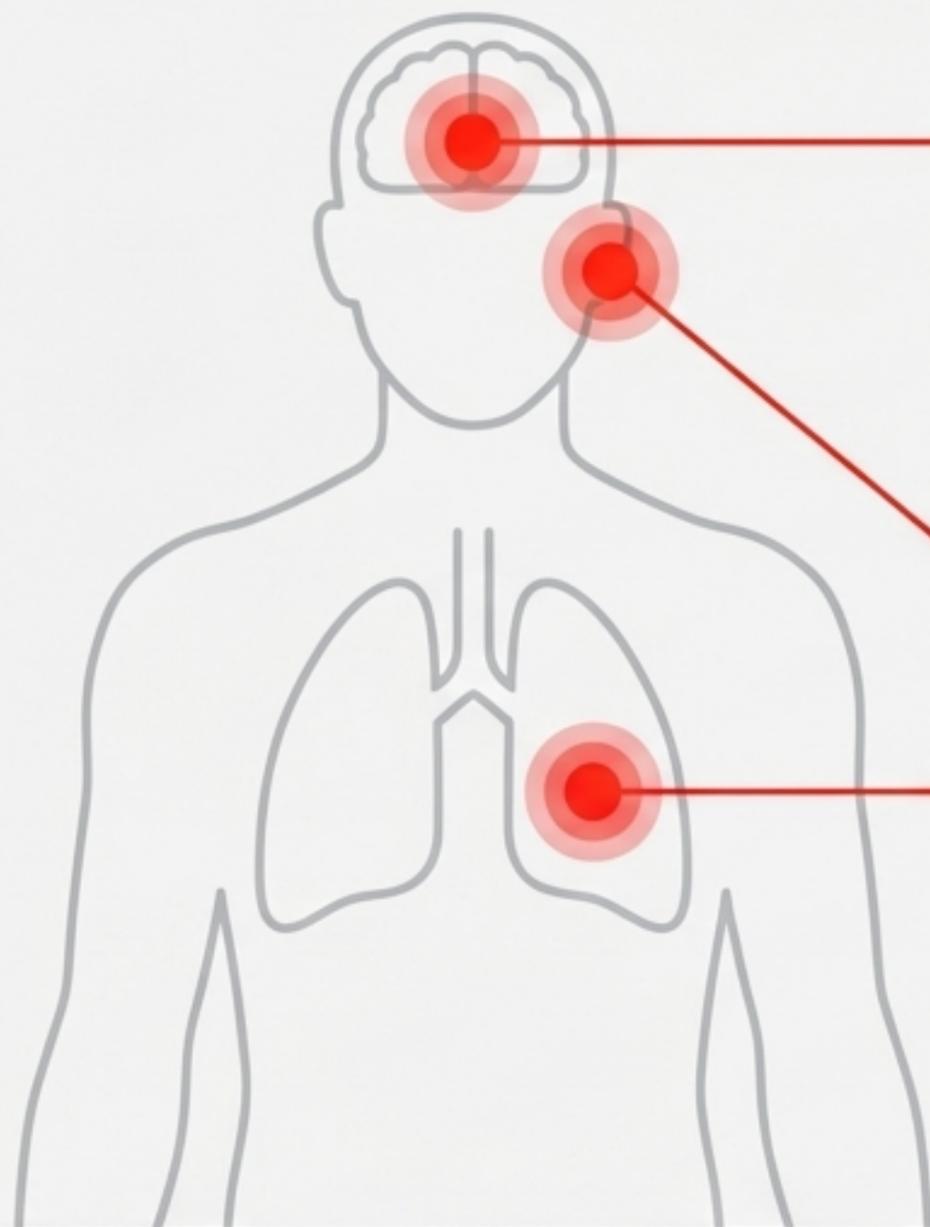
ウイルスは空間に最大2時間とどまり、免疫がなければ同じ部屋にいるだけでほぼ100%感染します。マスクだけでは防ぎきれません。

「ただの風邪」と勘違いしやすい、危険な症状の経過。



発疹が出る前から強い感染力があります！

命に関わる合併症。特效薬は存在しません。



脳炎 / SSPE

数年後に発症する
致死性の脳炎リスク

中耳炎

肺炎

重症化の主な原因



妊婦（流産・早産のリスク）、
乳幼児、免疫の低下している
方は特に重症化リスクが高く、
極めて危険です。

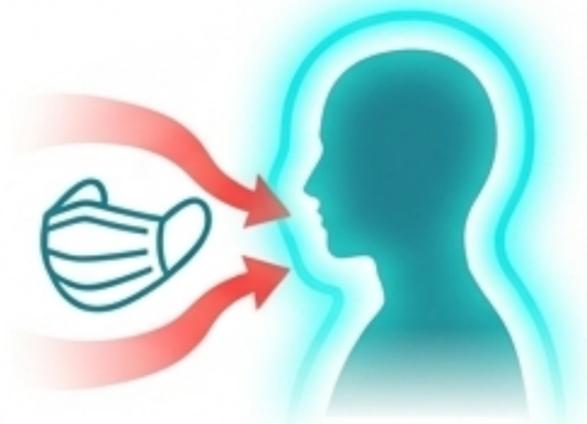
麻疹ウイルスを直接退治する薬（特效薬）はありません。対症療法のみとなります

唯一かつ最強の防御策は「ワクチン」です。



MRワクチン
(麻疹・風疹混合ワクチン)
2回接種

**2回の接種で約95%以上
の人が免疫を獲得できます。**



手洗い・マスクだけでは防げない空気感染も、ワクチンによる免疫があれば防ぐことができます。



自分がかからないためだけでなく、周囲の妊婦や赤ちゃんを守る「社会の防壁」になります。

あなたの免疫は大丈夫？ 年代別のワクチン接種状況

2000年4月以降生まれ

2回接種世代



安全性の
安全性

1972年10月～2000年3月生まれ

1回接種世代



免疫が持って
落ちである

1972年9月以前生まれ

未接種世代



定期剤はなし
自然感染検査認

母子健康手帳



🔍 母子健康手帳で記録を確認しましょう！記録がない・不安な方は抗体検査（自費）をお勧めします。

【最重要ルール】 疑わしい症状がある場合…



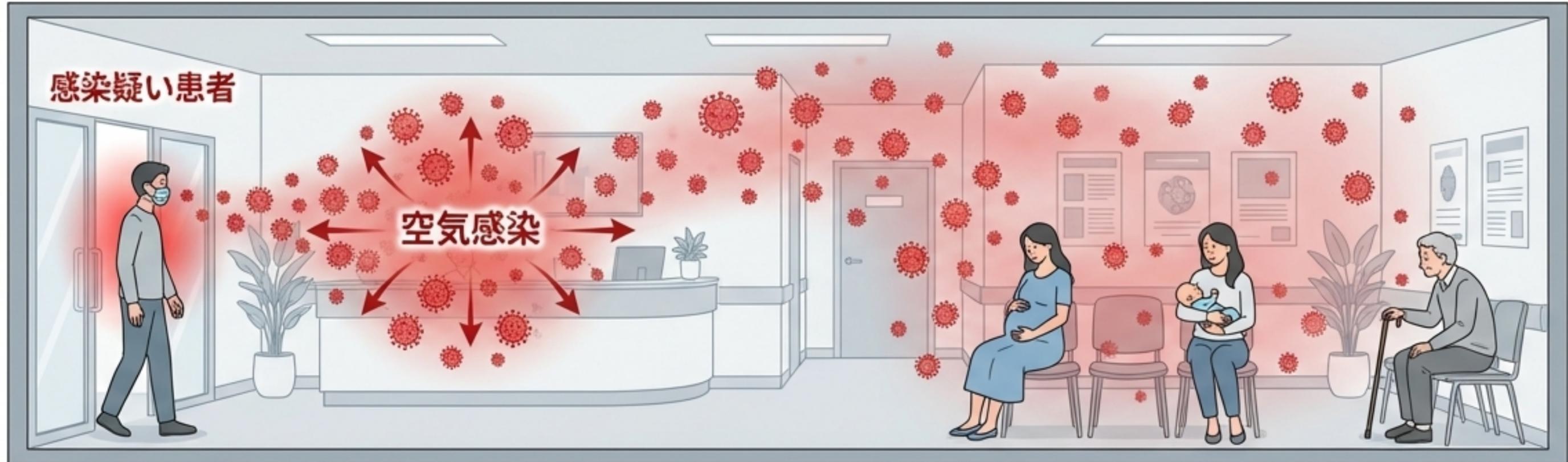
**絶対に、事前の
電話なしで直
接来院しない
でください!**

(発熱、発疹、目の充血などがある方)

まずは
お電話を!



なぜ、直接来てはいけないのか？



待合室での空気感染を防ぎ、免疫のない赤ちゃんや妊婦さん等の命を守るためです。皆様のご理解とご協力が不可欠です。

正しい受診ステップ（疑いがある場合の行動フロー）



STEP 1: 電話する

当院に電話し、「麻疹かもしれない」と伝えて指示を仰ぐ。



STEP 2: 移動する



マスクを着用し、徒歩で来院する。

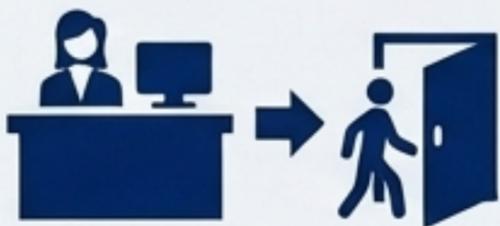
CRITICAL DON'T



電車・バス・タクシーなどの公共交通機関は絶対に使用しないでください。



STEP 3: 来院後の対応



来院後は、受付を行った後、隔離部屋に案内します
（一度クリニックを退出し、裏から廻ってもらいます）

地域医療の安全を守るために、ご協力を。

麻疹は非常に恐ろしい病気ですが、正しい知識と行動、そしてワクチンによって必ず防ぐことができます。不安なこと、抗体検査のご相談などがあれば、[Clinic Name]までお気軽にお電話ください。

- ✓ 母子手帳でワクチンの履歴を確認
- ✓ 疑わしい症状があれば、まず電話
- ✓ 公共交通機関は使わない

[医院名称] /  [電話番号] 